



2006年1月19日

各位

上場会社名 中外製薬株式会社  
コード番号 4519 (東証 第一部)  
本社所在地 東京都中央区日本橋室町2-1-1  
代表者 代表取締役社長 永山 治  
問い合わせ先 責任者役職名 財務経理部長  
氏 名 板谷 嘉夫  
電話番号 03(3281)6611

## 平成17年12月期決算速報のお知らせ

当社の親会社ロシュ・ファームホールディング・ビー・ヴィを含むロシュグループは、平成18年2月1日(スイス時間)に国際会計基準に基づく平成17年12月期の決算発表を行い、その中で当社決算情報の一部が開示されます。当社といたしましては、株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行う一環として、親会社の発表に先立ち、当社平成17年12月期(平成17年1月1日~平成17年12月31日)の決算速報を下記の通り発表することにいたしました。

なお、決算発表は平成18年2月9日を予定しております。

### 記

#### 1. 平成17年12月期決算速報(連結)

(単位:億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成17年12月期	3,272	792	821	536
平成16年12月期	2,947	515	520	341
増減額	325	277	301	195
増減率	11.0%	53.7%	57.9%	57.2%

(注)記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

売上高につきましては、抗インフルエンザウイルス剤「タミフル」が平成17年2、3月におけるインフルエンザの大規模な流行、新型インフルエンザ発生の懸念、および平成17年-18年シーズンの流行期入りが見込まれることから前年を大幅に上回る売上げとなりました。また、主力製品であります遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポジン」をはじめ既存品が堅調に推移しました。さらに、平成16年5月に上市をした閉経後骨粗鬆症治療剤「エピスタ」が市場での認知度が高まり売上に寄与しました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、販売費および一般管理費の圧縮等の効果により、営業利益ならびに経常利益も増加しました。また、減損損失および事業所閉鎖関連費用を特別損失に計上したものの、当社開発品である「MRA」(製品名:「アクテムラ」)のロシュ社との共同開発に伴うマイルストーン収入、旧松永工場跡地と旧鏡石工場等の固定資産等売却益および厚生年金基金の代行返上益を特別利益に計上したことにより、当期純利益も増加しました。

2. 平成 17 年 12 月期決算速報 ( 単体 )

( 単位 : 億円 )

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 17 年 12 月期	3,145	720	761	514
平成 16 年 12 月期	2,851	467	476	328
増減額	294	253	285	186
増減率	10.3%	54.2%	59.8%	56.7%

(注)記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

3. 主要製商品別売上高 ( 連結 )

( 単位 : 億円 )

品 名	平成 17 年 12 月期	平成 16 年 12 月期
エボジン	718	690
タミフル	352	86
ノイトロジン	323	278
シグマート	193	178
リツキサン	178	168
アルファロール	158	160
カイトリル	122	110
ハーセプチン	112	93
フルツロン	92	120
エビスタ	92	33
スベニール	81	69
ペガシス	80	64
オキサロール	73	67
リスモダン	72	75
ロセフィン	54	46
オイグルコン	49	53
レナジェル	46	36
ゼローダ	27	21

(注)記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。